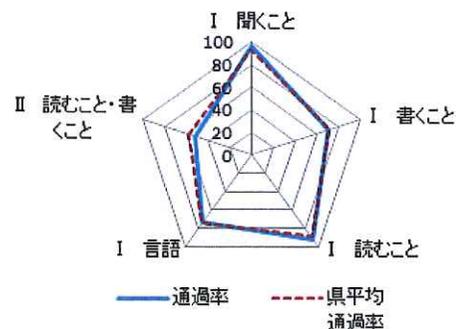


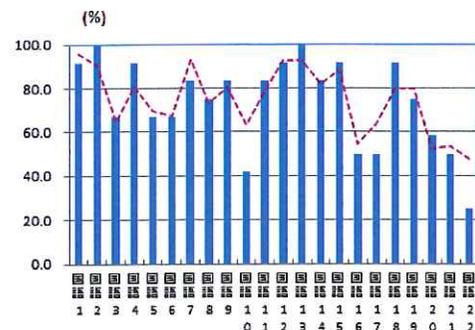
指導方法等の改善計画について〔国語〕

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校73.5%, 県 74.7%)

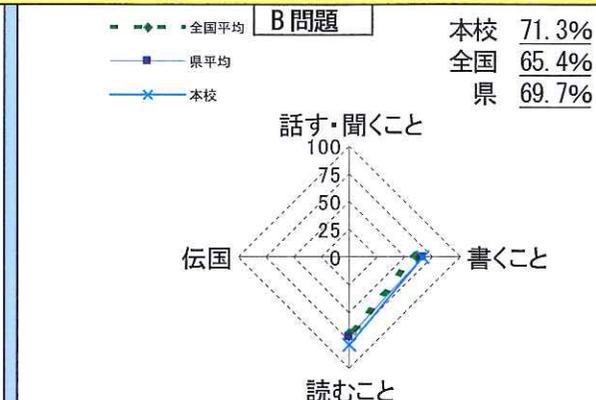
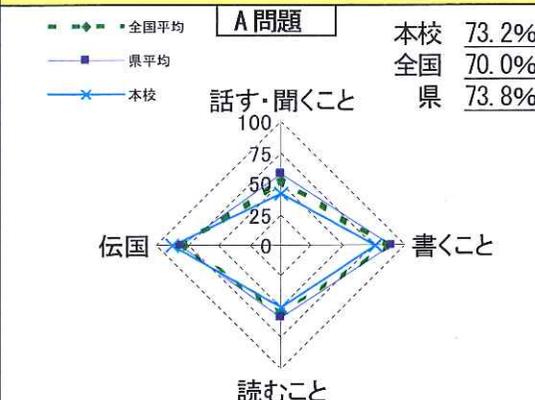
領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



全国学力・学習状況調査 本年度正答率



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

- ◎設問を読み取れておらず、条件を満たした文章が書けていないため、通過率が低い。また、資料をもとに自分の考えを述べることができない。段落構成の仕方を理解していない。(通過率25%)
- ◇新聞のコラムを読んで、表現の工夫を捉えることに課題がある。コラムの中で筆者の読書体験が書いてあるまとまりを選択できない。(通過率41.7%)
- ◇目的や意図に応じ、取材した内容を整理しながら記事を書く。インタビューした内容を条件に合わせて書くことができない。(通過率33.3%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

- ◎◇資料をもとに書かれている事柄を読み取り、書かれていることについて自分の考えを述べながら書く活動を行う。また、段落ごとに大事な言葉をおとさないで、短い言葉でまとめる指導をする。生活文だけでなく、観察文等、論理的な文章の書き方を指導する。社会科や理科等、国語科以外の教科でも表や資料から読み取ったことを条件に沿って、書く活動をさせる。
- ◎慣用句やことわざを普段の生活の中で生かす活動をさせる。
- ◇説明文で、書き手の考えの中心となる事柄を捉えながら、読ませる。
- ※ 小中一貫の取組の視点から、読み取る力をつけるために、家庭学習やチャレンジの時間に、読み取り問題を意図的に取り入れる。また、新聞を視写し、内容を取りまとめる活動を行ったり、読書活動の推進を行ったりする。

| ◎「基礎・基本」 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|----------|-------------|-----|-----|-----------------|----|----------------------|-----------------|
| 学年・方法 | 5年生 小テスト | | | 4・5年生 学期末テスト | | 3・4年生 H27 「基礎・基本」 | 4・5年生 学年末テスト |
| 目標値 | 70.0% | | | 75.0% | | 75.0% | 75.0% |
| 実施後数値 | | | | | | | |

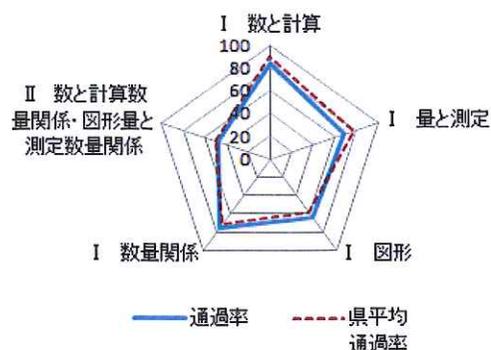
| ◇全国学力 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|-------------|-----|-----|---------------------|----|----|-----------------|
| 学年・方法 | 6年生 小テスト | | | 5・6年生 H27 「全国学力」 | | | 5・6年生 学年末テスト |
| 目標値 | 60.0% | | | 60.0% | | | 75.0% |
| 実施後数値 | | | | | | | |

来年度に向けて

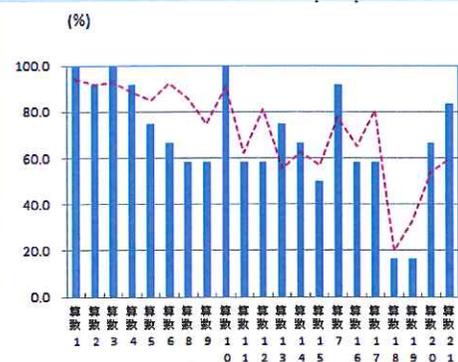
指導方法等の改善計画について [算数]

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校68.7%, 県 71.6%)

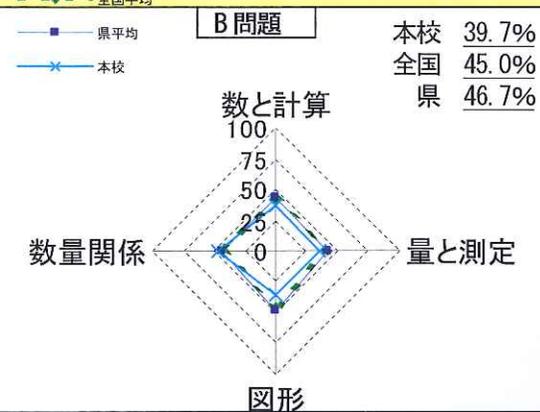
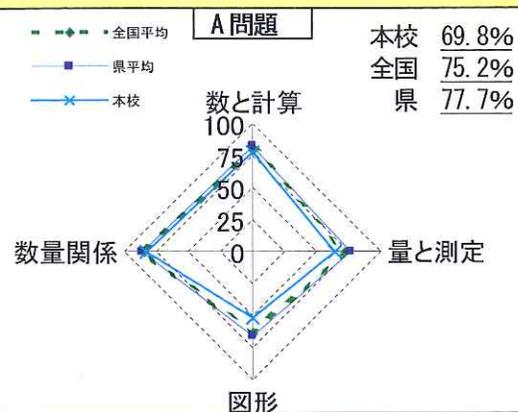
領域別平均通過率



総合平均通過率



全国学力・学習状況調査 本年度正答率



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

◎折れ線グラフと棒グラフの関連付け

折れ線グラフと棒グラフの情報を的確に読み取り、目的に応じて表やグラフを選び、活用することができていない。(通過率 16.7%)

◎条件を満たす時刻

いくつかの情報の中から必要な情報だけを取捨選択し、活用することができていない。(通過率 16.7%)

◇図形の観察と根拠の説明

長方形の面積を2等分する考えを基に、分割された二つの図形の面積が等しくなる理由を、言葉や数、記号を用いて記述することができていない。(通過率 8.3%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

- ◎ 目的に応じて表やグラフを選び、活用する算数的活動を取り入れる。表やグラフから分かることを指さして提示しながら、その視点を言葉に表し説明させる。また他教科における複数の資料から取捨選択するような問題との関連もはかり、日常生活のさまざまな事象から、情報をよみとらせるような活動を仕組む。
- ◎ 条件に合った時刻や時間を求める活動を取り入れる。開始時刻と所要時間、終了時刻の関係を正しく捉えられるよう、図や模型の時計を使って理解させていく。
- ◇ 筋道をたてて考え、その考えや説明の仕方をノートに言葉や数、記号を用いて表したり、前に出て発表させたりする。配慮を要する児童には、算数用語の提示や話型を示したりして支援を行う。毎日の学習で、基礎問題→確認問題→深化問題に取り組み、既習事項を活用して発展問題に意欲的に取り組む態度を養っていく。
- ※ 小中一貫の取組の視点から、「関数の考え」を育てるために、2つの数量の変化の様子を表や折れ線グラフにかいて調べたり、□、△を使って式に表したりする学習に取り組む。

| ◎「基礎・基本」 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|----------|-------------|-----|-----|-----------------|----|-------------------|-----------------|
| 学年・方法 | 5年生 小テスト | | | 4・5年生 学期末テスト | | 4年生 H27「基礎・基本」 | 4・5年生 学年末テスト |
| 目標値 | 70.0% | | | 75.0% | | 75.0% | 75.0% |
| 実施後数値 | | | | | | | |

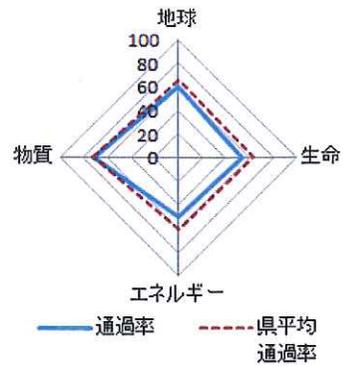
| ◇全国学力 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|-------------|-----|-----|--------------------|----|----|-----------------|
| 学年・方法 | 6年生 小テスト | | | 5・6年生 H27「全国学力」 | | | 5・6年生 学年末テスト |
| 目標値 | 60.0% | | | 60.0% | | | 75.0% |
| 実施後数値 | | | | | | | |

来年度に向けて

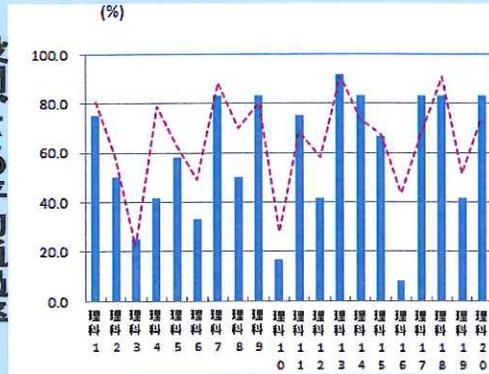
指導方法等の改善計画について [理科]

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 58.8%, 県 65.3%)

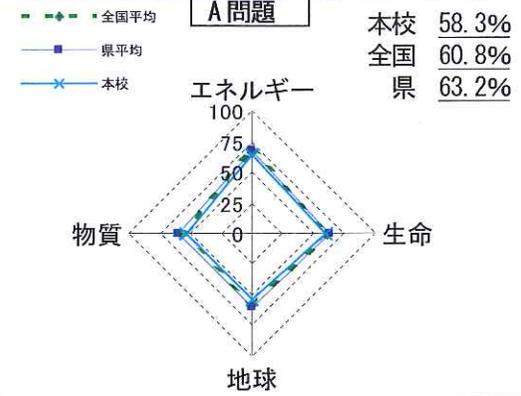
領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



全国学力・学習状況調査 本年度正答率



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

- ◎方位磁針の正しい使い方が身につけていない。(通過率8.3%)
- ◎昆虫の足が3対とも胸についていることが理解できておらず、説明することができない。(通過率16.7%)
- ◎電池を使った回路を図に表すことができていない。(通過率25%)
- ◇方位についての情報から観察している方位を判断することができない。(通過率25%)
- ◇水の温まり方を考察するために、実験結果を基に自分の考えを改善できない。(通過率16.7%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

- ◎方位磁針や電気回路などの実験器具を繰り返し使って学習を進め、使い方を定着させるとともに、それらを図に表して説明する学習を取り入れる。
- ◎◇観察・実験の結果の考察について、グループで、理科的な用語を積極的に使いながら筋道立てて説明し伝え合う活動を、繰り返し取り入れる。
- ※ 小中一貫の視点から、本中学校区では、科学的な知識はあっても、それを組み合わせて問題を解決していく力が弱い。既習事項をもとにして予想を立てることや、実験や観察を行った後に結果を考察していくことを重視する。

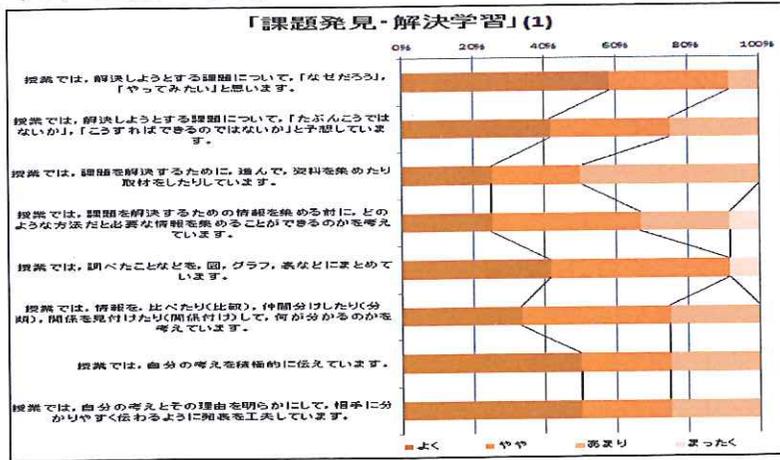
| ◎「基礎・基本」 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|----------|-------------------|-----|-----|-------------------|-------------------|---------------------|-------------------|
| 学年・方法 | 5年生 課題に即した小テスト | | | 5年生 H27「基礎・基本」 | 5年生 課題に即した小テスト | 3・4年生 H27「基礎・基本」 | 4年生 課題に即した小テスト |
| 目標値 | 60.0% | | | 70.0% | 80.0% | 65.0% | 75.0% |
| 実施後数値 | | | | | | | |

| ◇全国学力 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|-------------------|-----|-----|----------------|-------------------|----------------|-------------------|
| 学年・方法 | 6年生 課題に即した小テスト | | | 6年生 H27全国学力 | 6年生 課題に即した小テスト | 5年生 H27全国学力 | 5年生 課題に即した小テスト |
| 目標値 | 60.0% | | | 70.0% | 80.0% | 65.0% | 75.0% |
| 実施後数値 | | | | | | | |

来年度に向けて

2 質問紙調査 (「基礎・基本」定着状況調査：児童質問紙調査) (全国学力・学習状況調査：児童質問紙調査)

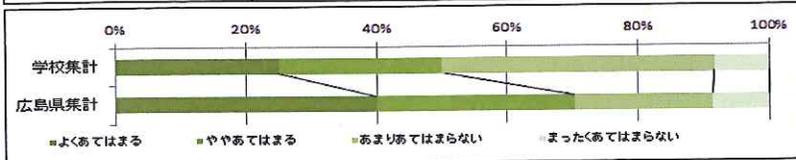
(1) 生活・学習



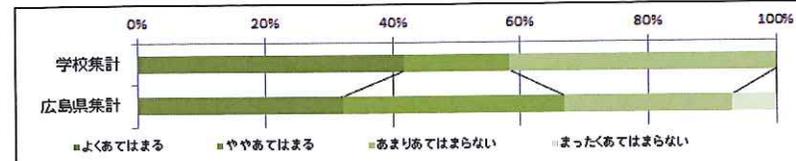
| | 児童の回答についての課題 (現状値) | 今後の具体的な取組の内容 | 学年 | 目標値 | 検証方法 | 検証時期 | 実施数値 | 現状からの伸び |
|-------|---|--|----|-----|-----------|------|------|---------|
| 基礎・基本 | 授業では、課題を解決するために、進んで、資料を集めたり取材をしたりしている児童が50%と低い。 | 新聞や図書室の本を活用した授業を意図的に仕組む。自主学習で予習する習慣もつけ、進んで課題を解決していく学び方を評価していく。 | 5 | 70% | 児童アンケート調査 | 12月 | | |
| 全国 | 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている児童が50%と低い。 | 授業の中で、ペア学習やグループ学習を意図的に仕組む。また、自分の考えを伝える方法を学ぶ言語技術の時間を設定する。 | 6 | 70% | 児童アンケート調査 | 12月 | | |

(2) 教科

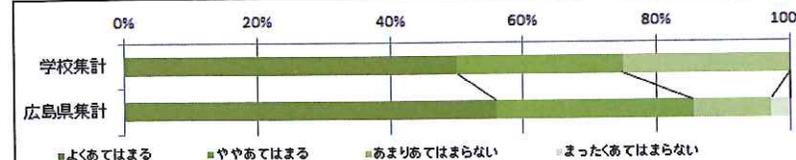
国語の授業では、わからない言葉や漢字があったとき辞書を使って調べています。



算数の授業では、とき方や考え方を話し合うときに理由をあげて説明しています。



理科の授業では、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったか考えています。



| | 児童の回答についての課題 (現状値) | 授業改善の方向性や具体的な取組 | 学年 | 目標値 | 検証方法 | 検証時期 | 実施数値 | 現状からの伸び |
|----|--------------------|--|----|-----|-----------|------|------|---------|
| 国語 | 基礎・基本 | わからない言葉や漢字があったとき辞書を使って調べている児童が50%と低い。 | 5 | 70% | 児童アンケート調査 | 12月 | | |
| | 全国 | 自分の考えを、考えの理由が分かるように書いている児童が50%と低い。 | 6 | 70% | 児童アンケート調査 | 12月 | | |
| 算数 | 基礎・基本 | 解き方や考え方を話し合うときに理由をあげて説明している児童が58.4%と低い。 | 5 | 70% | 児童アンケート調査 | 12月 | | |
| | 全国 | 算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解しようとしている児童が58.3%と低い。 | 6 | 70% | 児童アンケート調査 | 12月 | | |
| 理科 | 基礎・基本 | 観察や実験の結果から、どのようなことが分かったか考えている児童が75%である。 | 5 | 70% | 児童アンケート調査 | 12月 | | |
| | 全国 | 理科の授業で、自分の考えをまわりの人に説明したり、発表したりしている児童が41.7%と低い。 | 6 | 70% | 児童アンケート調査 | 12月 | | |